

がまき 議会だより

第103号
平成30年2月1日号



新春上牧町出初式

TOPICS

- 12月定例議会 2・3
- 議決結果・議会日誌 4
- 一般質問 5～10
- 特集 議会の仕組み(請願・陳情) 10
- 第7回 議会報告会のお知らせ 11
- 特集 新地方公会計制度 11
- 特集 合同視察研修 12

総務建設常任委員会報告

総務建設常任委員会では主に行政一般や財政、道路河川、農林商工業についての議案を審議します。

上牧町犯罪被害者等支援条例について

問 国では、平成16年に犯罪被災者等基本法が施行されており、10年以上が経過しているが、今回の条例制定の背景は何か。

答 平成28年の奈良県の条例制定をはじめ、大和郡山市や天理署管内の市町村でも条例制定されており、西和署管内7町においても犯罪被害者等を支援するための協議が行われ、上牧町でも今回制定することになった。

歳入

広告付電光案内板の使用料と広告料について

問 庁舎内に広告付電光案内板が設置されたが、経緯と町民への影響について。

答 業者から電光案内板の設置の話があった。庁舎インフォメーションということで、住民サービスとして庁舎内の位置図、当日の催しのお知らせや町内の事業者などがわかりやすく案内できるので電光案内板とモニターを設置した。業者が受けた広告代の一部が町に入ってくる。



庁舎1階に設置された電光案内板

歳出

障害児施設給付費1,782万円の増額について

問 増額の内容について。

答 障害児放課後デイサービスの利用が増加したことによる増額である。利用できる施設としては町内に

7箇所あり、児童の障害に見合った施設を利用して頂くことになっている。

地下水調査業務委託料349万円の計上について

問 地下水調査業務を必要とする理由は何か。

答 町有地に隣接する地主から地下水について不安視する声が寄せられ、念のため2箇所について、最大で地下15メートルのボーリング調査を実施する計画である。

山辺・県北西部広域環境衛生組合精算金について

問 山辺・県北西部広域環境衛生組合からの可燃ごみで251万円、不燃ごみ及び粗大ごみで20万円の精算金が計上されているが、事業は進んでいるのか。

答 事業は、平成35年度稼働を目指し順調に進んでいる。

舗装維持修繕計画調査・策定業務委託料359万円の計上について

問 舗装維持修繕計画調査・策定業務委託料359万円の内容について。

答 国で道路舗装点検要領が策定され、平成29年度より路盤等については個別の維持修繕計画を策定することにより、公共事業債の対象となることから実施するものである。

不法投棄撤去業務委託料

問 不法投棄に至った町有地の管理状況は、どのような状況であったのか。

答 9月13日に職員のパトロールで不法投棄が発覚した。投棄場所への通路は調整池の管理通路を兼ねたカラー舗装の遊歩道であったが、直ちに関係機関へ届出を行うとともに、9月14日に職員の手で町道からの入り口にバリケードを設置した。

以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。



文教厚生常任委員会報告

文教厚生常任委員会では主に社会福祉や保健衛生、教育、上下水道についての議案を審議します。

上牧町民体育館設置条例の一部改正

問 改正内容の説明を。

答 第一町民体育館、第二町民体育館使用料を全面1時間900円半面450円及び第二体育館多目的室の使用料1時間300円に改定。

問 現在の体育館の稼働率の状況は。

答 日中の稼働率は第一・第二体育館共に80数%夜間は水曜日、木曜日に利用されている。

問 上牧町は夜9時まで利用できるが、近隣では河合町、広陵町が午後10時まで王寺町は9時半になっている。時間延長の検討はどうか。

答 今後検討していく。



新しくなった第二体育館

平成30年度から始まる 国民健康保険の県単位化について

問 平成30年度からの県単位化の準備状況は。

答 制度変更に伴うシステムの改修を行い、運用のテストを行っている。11月末に県国民健康保険運営方針が決定し12月に公表された。県の試算がこれから市町村に示される。

委員会に付託しなかった議案

- 一般会計補正予算(第4回)専決処分について
衆議院議員総選挙費用…797万円
- 一般会計補正予算(第5回)専決処分について
改良住宅建物火災保険金…1,088万円
- 上牧町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正
人事院勧告により期末手当支給率を325/100から330/100に変更
- 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

介護保険事業について

問 介護予防・生活支援サービス事業費1,235万円の増額について。

答 当初予算では、保険給付費で計上していたが、総合事業に変更した。約50名がチェックリストを行い、そのうちの10名が介護予防・生活支援サービスを利用している。

下水道事業体制について

問 1名異動した職員の従事していた職務内容はなにか。また、現在の人員数で職務上問題ないか。

答 9月末で課長補佐が異動したが、係長が引き継いだ。残る職員で職務を遂行している。

上牧中学校渡り廊下改築に係る 請負変更契約の締結について

問 施工方法を変更した理由と変更した施工内容の説明を。

答 当初は渡り廊下2本同時に解体し西側より順次施工していく予定であったが、学校の利便性を考慮し西側より1本ずつ解体、施工していく。そのため工期が2カ月延びることとなった。

問 今回の変更により中三の受験生にとって大変過敏な時期に施工するので十分配慮すると同時に、学校での施工は、当初よりもっと学校側と十分協議をした上で施工方法等を決定してほしい。

答 今後注意する。

以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。



人事院勧告により期末手当支給率を325/100から330/100に変更

- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
人事院勧告により勤勉手当支給率を170/100から180/100に変更
- 「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率等の高上げ措置の継続等に関する意見書(案)
道路整備事業に係る国の補助率55%の平成30年度以降も継続を求めるもの。

以上採決の結果、全議員異議無く
承認・可決しました。



平成29年12月 定例会の議決結果

(平成29年12月4日～12月13日)

○賛成 ●反対 -除斥 ×棄権 空白は欠席

議案名	議決結果	石丸典子	竹之内剛	遠山健太郎	牧浦秀俊	吉中隆昭	長岡照美	富木つや子	服部公英	堀内英樹	康村昌史	東 充洋	辻 誠一
専決処分報告 平成29年度上牧町一般会計補正予算(第4回)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません
専決処分報告 平成29年度上牧町一般会計補正予算(第5回)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町犯罪被害者等支援条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町民体育館設置条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町一般会計補正予算(第6回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町水道事業会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧中学校渡り廊下改築工事に係る請負変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率等の高上げ措置の継続等に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議会日誌

10月

- 10日 広報委員会
新任議員研修会
町追悼式
- 16日 広報委員会
- 17日 障がい者計画及び第5期障がい
福祉計画策定委員会(第2回)
- 18日 町バリアフリー基本構想策定協
議会(第1回)
- 23日 静香苑環境施設組合議会
- 27日 総合戦略検証委員会(第1回)
- 30日～31日
総務建設・文教厚生委員会合同視察研修



11月

- 2日 奈良県町村議会全議員研修会
- 3日 ペガサスフェスタ
- 6日 総合戦略検証委員会(第2回)
- 7日 北葛城郡町議会議員研修会
- 10日 議員懇談会/平群町議会視察研修
- 16日 国保運営協議会
- 20日 総合戦略検証委員会(第3回)
- 21日～22日
第61回町村議会議長全国大会
- 北葛城郡町議会議長・副議長合同研修
- 26日 町総合防災訓練
- 30日 議会運営委員会/広報委員会

12月

- 4日 第4回定例会(初日)
議員懇談会
- 5日 文教厚生委員会
- 6日 総務建設委員会
- 11日 一般質問(5名)
- 12日 一般質問(5名)
- 13日 第4回定例会(最終日)
議員懇談会
- 20日 町バリアフリー基本構想策定協
議会(第2回)
- 22日 町シルバー人材センター理事会
- 26日 王寺周辺広域市町村圏協議会



あなたの声を町政に！

一般質問一覧

上牧町の行政事務全般について、各議員が町側に考えを聞くのが一般質問です。

各議員は政策提言も含めて質問をすることができ、上牧町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会日よりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴又はインターネットでも中継していますので是非ご覧ください。

遠山健太郎	かんまき流「若者移住促進のまちづくり」をめざして ～人口減少に向けた横断的な取り組みを～
堀内 英樹	持続可能な財政運営を目指す取り組みについて
牧浦 秀俊	1. 上牧町防災・危機管理について 2. 健民グラウンドでの野球・ソフトボールで県道にボールが出る問題について 3. 上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証について
服部 公英	1. ごみ問題について 2. 福祉政策について 3. 社会教育について
石丸 典子	1. 国民健康保険の県単位化について 2. 水道事業と広域化について 3. 骨粗鬆症の予防について
康村 昌史	1. 上牧町の施策について 2. 住民サービスについて
富木つや子	1. 町民の目線に立ったわかりやすい組織体制について 2. 子どもの食と学校給食について 3. 高齢者、障がい者のごみ出しについて
長岡 照美	1. 住民票異動届の取り扱いについて 2. 性同一性障がいの方の保険証の性別表記について 3. 胃がん予防のためピロリ菌検査について
竹之内 剛	1. 小・中学校のスポーツ活動について 2. スポーツ施設の使用状況及び設備について
東 充洋	1. 平成30年度予算編成方針について 2. 災害時や防犯に対する安全・安心の確保について

問 婚活イベントを上牧町が主催となってする意図と目的はなにか。

答 結婚に意欲を示す若者に対し、結婚に向けた支援をすることで、晩婚化や少子化に歯止めをかけ、上牧町に定住して頂き子どもを産み子育てをしてもらうことが主な目的である。

問 婚活イベントの実施だけでなく、定住促進のために、住環境の整備・提供の政策も併せて企画する方が若者の定住促進には有効と思う。例えば、上牧町が主催する婚活イベントに参加し成婚に至ったカップルを登録する制度をつくり、登録者が上牧町に申請をすれば、町内の空き家購入又はUR住宅などの斡旋やリフォームの一部助成等を実施する。そのような政策を展開し、子育て世帯の人口流入政策を図るべきと考えるがどうか。

答 今後政策の一つとして検討していきたいと思う。



第4回婚活イベント会場の「まほろば珈琲」

かんまき流
「若者移住促進の
まちづくり」をめざして



遠山健太郎

～人口減少に向けた
横断的な取り組みを～

早い段階から、
将来を見据え、手を打つ



堀内 英樹

持続可能な
財政運営を目指して

問 持続可能な財政運営を目指す上で、上牧町行政の過去の失敗から、「計画性」が最も大事であると思うが、どうか。

答 将来を見据えた財政計画が一番である。上牧町も現在そのような考え方で、財政計画を策定し取り組んでいる。上牧町の財源は税収と地方交付税だけであり、この限られた財源で何が出来るのか、常に財政計画の中に盛り込んで運営している。

問 上牧町は厳しい状況のなかで、どのようにして未来志向で生き延びて行く方針か。

答 今後はより町民の方々にも参加をして頂いて、行政を進めて行かなければならない。まちづくり基本条例にも謳っているように、町民の方々・議会・行政が協働により安全・安心なまちを作っていく。そのために「まちづくり協議会」が早い時期に出来るように検討して行きたい。厳しい財政状況のなかでも、上牧町の施策が町民の方々の心や気持ちが豊かになるようなまちづくりを、しっかりと進めて行きたい。

問 10月22日の台風21号発生時には大変不安な思いをされた町民も多く、改めて町民の防災意識が高まったと思う。町はこの台風時にどのような行動・対策をされたのか。

答 当日5時42分大雨警報が発令し、8時までに34名の職員が参集した。その後防災対策本部会議を10時に第1回、14時に第2回、18時に第3回を開催。第2回目の会議後、土砂災害警戒区域にある金富・梅ヶ丘地区に対して自主避難所(2000年会館)開設の放送を実施。第3回後には町内全域に対し、防災行政無線や緊急エリアメール・広報車にて、避難準備情報・高齢者等避難開始の案内を実施した。

問 広陵町や香芝市のエリアメールはたくさん入ったのだが、上牧町は入らなかったため、不安な思いをしたと報告があったが。

答 上牧町もエリアメールを出したが、近隣市町村のように、見出しに「上牧町」と記載がなく、わかりにくい内容となり大変不便をかけた。今後、エリアメールも含め町全体の総合防災訓練での計画や行動の際にも工夫をしたいと思う。

上牧町防災・危機管理について(台風)



牧浦 秀俊

今回の台風を
事例にして説明を

社会教育施設について



安心・安全な
避難場所に

服部 公英

問 第二体育館の改修工事について、工事期間、内容、予算、及び、現在使用されている団体の工事期間中の代替え場所についての対応はどのように考えているのか聞かせてください。今回の改修工事は、耐震診断の結果から耐震補強が必要とされたため実施されたものです。防災計画の避難場所にもなっている施設の改修工事については、住民の安心、安全に繋がると考えます。私もこの事業には賛成です。そこで、改修工事の内容について、現在は物置小屋の様になっているジムの部屋ですが、新しいタイプの体操器具も設置して、住民の健康に役に立つ誰でも簡単に使える体育施設にハード面、ソフト面にも考慮して、使い勝手の良い体育館に改善をお願い致します。

答 期間は契約の日から平成29年11月30日まで、請負金額は82,944,000円です。工事期間中の代替え施設については、使用団体と連絡を取り支障のないように行いました。照明器具もLEDになり、電球交換の心配も少なくなりました。

ジムの部屋は多目的室に改修し、平成30年1月から貸部屋として利用していただきます。

問 国民健康保険制度は、平成30年度から奈良県の運営になる。新たな公費1,700億円と激変緩和措置を含めた保険料試算が行われているが、負担はどうなるのか。

答 試算結果は、県が公表していない。「県国保運営方針」は、12月に公表された。同じ所得、世帯構成であれば県下同じ保険料となる。

問 県の運営方針の特徴は、適正な徴収・医療費の適正化を重視している。平成36年度に保険料統一とし、県と市町村が協議して「保険料方針」を策定されるが、公表の時期は。

答 平成30年1月に国から確定係数が示され、3年ごとの保険料方針を策定する。その後、上牧町では議員への説明・国保運営協議会の開催、そして3月議会に提案する。

問 保険税の引き上げとならないよう、また、これまで通りの懇切な納付相談・保険税の申請減免制度の継続を求める。

答 6年間は、県の激変緩和策と基金で緩和していく。国民健康保険は、公的医療保険制度で国民皆保険の最後の砦である。上牧町の施策が後退しないよう、県に要望する。

国民健康保険税、負担はどうなる



誰もが安心し
受けられる医療制度に

石丸 典子

ペガサスホールの 活性化について



お客様は神様です

康村 昌史

問 ペガサスホールは平成27年9月1日に再開された。このホールの運営には理事者側から有償ボランティアを活用するとの提案があった。この有償ボランティアとは何か。

答 ホールを利用する時、プロの舞台・照明・音響担当が必要な場合が多く、その費用は高額になる。そのため、そのプロのお手伝いを有償ボランティアが担えば必要最低限のプロを雇うため、ホールを安く利用できる制度である。

問 この有償ボランティアの管理・運営は町職員が行なっていると思われるが、その体制はどうなっているのか。

答 有償ボランティアは現在男性6人・女性15人で年10回程度の勉強会を開いている。

問 この有償ボランティアは将来的にプロを目指すのか。

答 そこまでは考えていない。簡単な照明・音響等ができればと考えている。

問 ホールの利用者はお客様であり神様と考えて頂きたい。その利用者が何度もペガサスホールを利用してもらえるよう町職員並びにプロ・有償ボランティアの人達は努力・気遣い等をしなければならないと考えるか如何か。

答 ホールの利用者に気持ちよく使って頂きペガサスホールの稼働率を上げるよう努力する。

問 本町では、妊娠から子育てまでを包括的に支援する「子育て世代包括支援センター」の設置を平成31年度に予定されています。

保健センターと福祉課が中心となり、必要な支援に応じるためには、各課との横断的な連携体制が求められます。子どもに関する手続きや相談等を一元的に対応する「子ども支援課」の設置が必要では。

答 町として、若者の定住対策や子育て支援等施策に取り組んでいる。その中で「子ども支援課」の設置は必要である。以前から組織の見直しも考えており、合わせて来年4月に向けて検討する。

問 子育てをはじめ、様々な事業が行なわれている中で、福祉部門の事業は現在、役場福祉課と2000年会館の2箇所で行なっており、町民にとっては不便です。福祉部門を2000年会館に一本化し、町民目線に立った窓口体制の整備を提案しています。

答 2000年会館の受付窓口にあるガラスの撤去は財源の問題等もありますが、住民にとって相談しやすい窓口体制になるよう検討していきます。

町民の目線に立った わかりやすい窓口体制

子育ては
「子ども支援課」で



富木つや子

胃がんは早期発見・
早期治療で治る病気



長岡 照美

胃がん予防に
ピロリ菌検査の導入を

問 毎年約5万人が胃がんで亡くなっておりその95%はピロリ菌に感染しています。生涯で、がんにかかる確率は2人に1人、胃がんは男性の9人に1人、女性は18人に1人です。がんの中で胃がんは死亡率や罹患率がともに上位を占めています。胃がんは早期発見・早期治療で治る病気と言われております。上牧町の胃がんの罹患率、検診受診率は。

答 上牧町の胃がん罹患者数は322名、検診受診率は2.05%です。

問 胃がんを大きく減らす効果があることからピロリ菌検査を実施する自治体が増え、奈良県では2市3町がピロリ菌検査を実施しています。また中高生へのピロリ菌検査の助成を行う自治体もあります。上牧町においても町民の健康を守るためピロリ菌検査の導入を伺います。

答 胃がん予防にピロリ菌除菌検査は必要と考えています。当面は40歳以上の集団検診の中で取り入れる検討を行います。

問 スポーツ推進法では、全世代の国民があらゆる機会とあらゆる場所においてその適性及び健康状態に応じてスポーツを行えるよう推進されなければならないとあるが、現在本町の中学校では運動系部活動の種目の選択肢が少ないために、希望が叶わず適正のある部活動を断念せざるを得ない生徒がいる。部活動によっては部員数の集中、または不足で部活動に支障を生じる場合もある。そこで学校、行政、生徒、保護者間が協議の場を持ち生徒のニーズや適正に応じた有意義な部活動の推進のために部活動の種目増や指導者不足に対する外部コーチの委託等を検討いただけないか。

答 種目を増やすのは厳しい。生徒のニーズへの対応は全て応えることは出来ないのでよく検討していきたい。外部コーチ委託依頼については現在考えていないが、他の市町村の事例を含めて現状を踏まえながら、学校、行政間で検討し、保護者、生徒の意見を反映できるように総合的に検討していきたい。

中学生世代に幅広い
スポーツ活動の選択を!



竹之内 剛

豊かな心と健やかな
体の育成を目指して

平成30年度予算編成について質問しました



東 充洋

予算規模は
71億8千万円

問 平成30年度予算編成方針について説明を求めます。

答 財政健全化の4指標が国の基準より高い数値となっており、過去に財政危機に陥った事もあり、十分考慮するよう各担当課に通知・通達した。歳入においては、町税や地方交付税の増額は見込めない状況である。歳出は抑制に向け今後も厳しくなる状況を踏まえ十分精査するよう明記し、住民のニーズを的確に把握し、住民の視点を大事にした行財政運営に努めてまいります。

問 新たな施策について説明を求めます。

答 小中学校へのエアコンの設置事業と滝川改修事業を計画している。

問 滝川改修事業について説明を求めます。

答 県が平成30年度から2ケ年で文化センター付近から約60m水辺で憩えるよう改修する。町は来年度に事業計画を作成し、5ケ年で遊歩道の整備と自転車通路の新設等の整備事業を行う計画である。

問 予算規模について説明を求めます。

答 71億8千万円程度と見込んでいる。

特集

「議会の仕組み」
請願・陳情とは？

みなさんが町政に関する事で、意見や要望があるときは、その趣旨、提出年月日、請願者・陳情者の住所・氏名（法人・団体の場合は、その名称と代表者の氏名）を記載、押印して、外国籍の方も含め誰でも請願書・陳情書を提出することができます。

【請願書】を提出するときは

請願は国民に認められた憲法上(第16条)の権利の一つです。国または地方公共団体の機関に対して意見や希望を述べる事が出来ます。

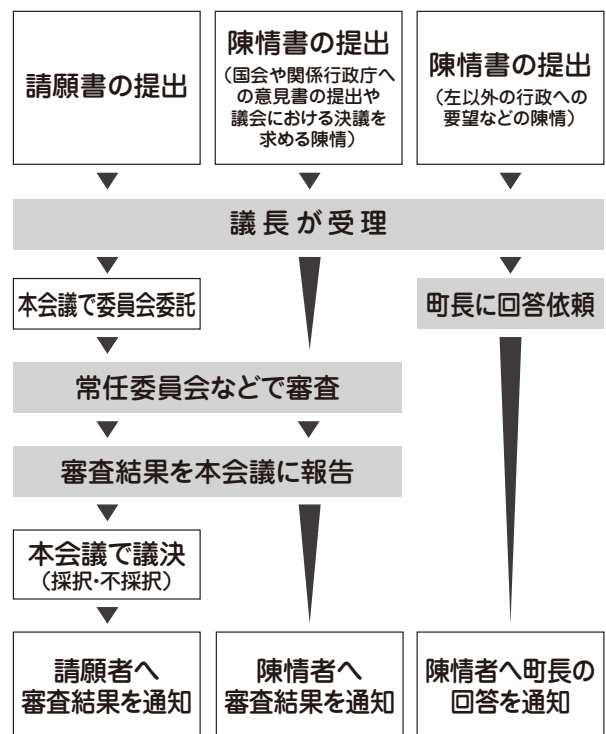
1人以上の町会議員の紹介を必要とします。

【陳情(要望)書】を提出するときは

陳情書の場合は

町会議員の紹介は必要ありません。

請願・陳情の流れ



第7回 議会報告会 「みなさんと語り合う座談会」を開催します!

日時 平成30年2月17日(土) 午後1時30分～午後3時00分

場所 2000年会館 2階多目的室

テーマ 1.子育てママ就業支援事業
アピタ西大和店にできたママスクエアについて
2.学校施設空調設備工事について
学校施設空調設備工事について

議会基本条例に示す「開かれた議会」を目指し、今年度2回目の座談会を上記の日程・テーマで開催させていただきます。

限られた時間ではありますが、当日は質疑応答の場も設けます。

お気軽に参加いただき、多くの方々のご意見をお聞かせいただければと考えております。



第6回議会報告会の様子

特集

新地方公会計制度とは

新しい地方公会計制度では、導入により、上牧町の資産や債務などが正確に把握・管理することができるようになります。そのため、予算の編成や決算の分析や行政評価などを通じて、財務状況を分かりやすく開示できるようになります。新公会計制度で開示される情報により、議会での予算決算審議においても、より有効な質疑を実施することができ、上牧町の財政状況がより分かりやすくなります。

この制度についてよく寄せられる質問を以下にまとめてみました。

Q これまでの地方公会計制度と異なる点は何ですか?

A 今までの地方公会計制度は、現金主義・単式簿記を特徴としていましたが、新地方公会計制度では発生主義・複式簿記といった企業会計の手法を導入します。具体的には、ストック(どれだけの資産を蓄えているか)やフロー(資金がどのように動いたかとその流れ)を明らかにしていきます。



Q 上牧町にとって、新しい地方公会計制度を導入する利点を教えてください。

A まず、新制度によって作成する財務書類で、上牧町の財政現状がより分かりやすく把握できるようになります。また、より正確な情報を住民の皆さまに公表することで、分かりやすく透明性のある財政運営が行われることとなります。

上牧町での新地方公会計制度の導入の時期や、新公会計制度のより詳細な説明については、今後も議会だより等を通じてお知らせしていきます。

総務建設・文教厚生委員会合同研修について

平成29年10月30日と31日、愛知県半田市と高浜市に総務建設・文教厚生委員会合同で研修に行きました。

■愛知県半田市「公共施設等総合管理計画」について

平成29年3月に策定された「半田市公共施設等総合管理計画」の基本方針は、

- ①施設の有効活用、統廃合の検討で施設数は増やさない
- ②老朽化による事故を防ぐ適切な保全
- ③コスト縮減と地方債の発行を最小限にし、将来世代の負担軽減、です。

なぜ早い時期に計画できたかといえば、平成24年度に、公共施設（建築物）の現状を把握した「公共施設白書」が策定されたことにあります。その後、平成26年度に「公共施設更新計画」がつくられ、それが改定されたのが「公共施設等総合管理計画」です。

並行して財政面では、平成24年からの新会計制度に伴い、固定資産台帳が整備され財務書類が作成されました。その結果、白書から総合管理計画に至るまでこのデータが活用されています。

半田市は起債にたよらず、公共施設整備基金を積み立てて財源を確保し、施設の管理をされます。



半田市での研修

■愛知県高浜市「妊娠出産包括支援事業」について

高浜市は、面積13km²、人口約4万7,700人。“福祉と健康でまちづくり”を進めるため、平成8年4月名鉄三河高浜駅前に、福祉の拠点「いきいき広場」を開設しました。現在、介護保険・障害福祉、地域包括支援センター、社会福祉協議会、こども発達センター、病後児保育などの事業を担当しています。この中の「こども発達センター」は、平成23年に開設され、妊娠期からの親子支援が行われています。特徴は、保健師の体制を充実させていることです。事業を増やせば保健師も増やし、なんと19人体制ということでした。小学校は5校で、小学校区ごとに2～3名の保健師で担当する相談事業が行われています。このような地区担当のしくみは、高齢者支援でも取り組まれているとのことでした。上牧町でも参考にできるように提案していきます。



高浜市「いきいき広場」

次回の定例会は 3月5日開催予定

- ・第1回上牧町議会定例会
平成30年3月5日(月)
午前10時から
- ・議会運営委員会
平成30年3月1日(木)
午前10時から

編集後記

▼上牧町では人口減少対策として子育て環境の整備等、様々な事業を展開しています。▼紙面にもありますが、来る2月17日(土)に開催する第7回議会報告会「みなさんと語り合う座談会」では、住民の皆さまにとっても関心の高い、子育て支援や学校環境の整備に関する事業に絞ってご報告をさせて頂く予定です。一人でも多くのご参加をお待ちしています。

お問い合わせ ☎0745-76-1001
☎0745-76-1003

広報委員会
委員長 遠山健太郎
副委員長 牧浦 秀俊
委員 石丸 典子
委員 竹之内 剛
委員 長岡 照美
委員 服部 公英
委員 康村 昌史